

敬称略

日時:2022年1月27日(木)18:00~21:00

会場:室蘭市市民会館 ホール(室蘭市輪西町2-5-1)

### 挨拶

基調講演(18:10~19:10)

・洋上風力導入に関する現状と課題・・・・・・・・・・日本風力発電協会代表理事 加藤 仁

・北海道の洋上風力促進に向けた取り組み……北海道経済部主幹 當瀬 一夫

休憩(19:10~19:25)

パネルディスカッション (①19:25~20:05 ②20:10~20:50)

モデレーター: ODE 佐藤 隆士

①洋上風力2040年45GW実現に向けた課題と展望

②洋上風力と地方創生 室蘭の洋上風力拠点化は何をもたらすか

閉会のあいさつ

MOPA副会長······**工藤** 秀尚

主催:MOPA(室蘭洋上風力関連事業推進協議会)

後 援:北海道開発局・北海道・室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町・北海道教育庁胆振教育局・室蘭市教育委員会 室蘭市議会・登別市議会・伊達市議会・(大)室蘭工業大学・室蘭商工会議所・登別商工会議所・伊達商工会議所 (一社)登別室蘭青年会議所・(公財)室蘭テクノセンター・(一社)日本風力発電協会・(株北洋銀行・(株北海道銀行(11.30現在)

問い合わせ先: MOPA事務局(成田、米田)

☎0143-24-7022 E-mail∶narita@kurinet.co.jp(成田) / ☎044-328-4320 E-mail∶a-yoneda@denzai-eng.com (米田)

# Muroran Offshore Wind Forum 2022





MOPA会長 三菱製鋼株式会社 取締役常務執行役員 関根 博士

### ごあいさつ

本日は「室蘭洋上風力フォーラム2022」にお越しいただきましてありがとうございます。新型コロナウイルス感染再拡大により、ご来場の皆様におかれましては、各種対策等に苦慮されていると思いますが、手洗い、マスク着用等確実に行い日常生活に支障をきたさぬ様ご注意をお祓い頂ければと存じます。

さて時節の折、たいへんご多忙のところご参加くださいました皆様には、MOPA会員を代表し心から感謝申し上げます。本日、この場におられます皆さまとともにフォーラムを開催できることに、大きな喜びを感じております。

今回私どもが主催させて頂きます市民向けフォーラムは、洋上風力関連事業における室蘭港のポテンシャルを地域の皆様にお伝えすること、また、鉄の町室蘭がゼロカーボン実現の先駆的役割を果たせることを内外にPRすることを目的としております。

ご参加下さいました皆様におかれましては、洋上風力発電事業について、より理解を深めて頂くとともに、それが20年後の室蘭を中心とした周辺地域の持続的発展を思い描いて頂けるプログラムになると確信しております。

本フォーラムでは、風力発電に関連する技術的知見の先端を行かれている方々と、日ごろより室蘭と周辺地域の活性化を考えていらっしゃる方々に、ご講演及びパネルディスカッション等への参加をお願いしております。今回、これだけのメンバーにお集まり頂けたのも、洋上風力発電事業における、室蘭地域が非常に魅力的な地であることに他ならないからだと思われ、洋上風力の今後の展望と、洋上風力が地域にもたらす恩恵について、有意義なお話をお聞き頂けるものと期待しております。

本日、会場にお越しの皆様を通じ、このフォーラムが市民の皆様の議論の入り口となり、今後、活発な提案がなされていく事を祈念し、ご挨拶に代えさせて頂きます。

## 基調講演 講演者プロフィール



MOPA理事長 DENZAI株式会社 代表取締役社長 CEO 上村 浩貴

2011年株式会社電材重機入社。

2013年株式会社関東重機(現:電材エンジニアリング)の完全子会社化に伴い、取締役事業 再生責任者に就任し、陸上風力建設・メンテンナンス事業への新規参入を主導。

2019年からは台湾法人のCEOに就任し、洋上風力建設事業統括を担当。

創業の地、室蘭の洋上風力拠点化を目指す「MOPA(室蘭洋上風力関連事業推進協議会)」を室蘭市や地元の大手企業とともに立ち上げ、脱炭素産業での地方創生にも取り組んでいる。



(一社)日本風力発電協会 代表理事 加藤 仁

1977年三菱重工業(株)入社、2006年原動機事業本部原動機業務部長、 2008年エネルギー・環境事業統括戦略室長、2011年原動機事業本部副本部長、

2013年執行役員原動機事業本部副本部長兼風車事業部長、

2014年MHI Vestas Offshore Wind A/S Co-CEO

2017年日本風力開発(株)副会長 現在に至る

2018年一般社団法人日本風力発電協会 代表理事 現在に至る



北海道経済部環境・ エネルギー局 環境エネルギー課 省エネ・新エネ促進室 主幹(洋上風力) 當瀬 一夫

平成3年に北海道職員として奉職。

平成19年北海道東京事務所観光・マーケティング主査。

平成22年北海道胆振総合振興局商工労働観光課工業振興係長。

平成23年北海道経済部産業振興課主査(企画)。

平成25年北海道経済部環境エネルギー室主査(電源地域)。

平成27年十勝の清水町に派遣となり、商工観光課参事。

平成29年北海道十勝総合振興局商工労働観光課主幹。

平成30年(公社)北海道観光振興機構に派遣となり、広域観光部次長。

令和2年から北海道経済部環境・エネルギー課主幹(洋上風力)となり現職。

## モデレータープロフィール



オフショアデザイン エンジニアリングリミテッド カントリーマネージャー 佐藤 隆士

米大手電気機械メーカのエマソンエレクトリック社の日本法人代表を経て、専業エンジニアリング会社にてBOP EPCコントラクターのプロジェクトマネージャーとして一般海域洋上風力案件に携わる。英国オーナーズエンジニア企業のオフショアデザインエンジニアリング社の日本進出に伴い、2019年10月にカントリーマネージャに就任。国内洋上風力案件でのBOP及び風車のEPC、O&M、地元貢献、公募準備等多岐に渡る戦略コンサルティング、技術アドバイザリー業務を発電事業者各社へ提供中。



コスモエコパワー(株) 常務取締役 眞鍋 修一

1990年株式会社小松製作所入社、1997年エコー パワー株式会社八社(現コスモエコパワー株式会社)、2008年取締役事業開発部長、2010年4月一般社団法人日本風力発電協会 政策部会副部会長、2018年コスモエコパワー株式会社常務取 締役、2021年2月一般社団法人日本風力発電協 理事就任



(一社)日本風力 発電協会 代表理事 加藤 仁

1977年三菱重工業(株)入社、2006年原動機事業本 部原動機業務部長、

2008年エネルギー・環境事業統括戦略室長、2011年 原動機事業本部副本部長、 2013年執行役員原動機事業本部副本部長兼風車事

2014年MHI Vestas Offshore Wind A/S Co-CEO 2017年日本風力開発(株)副会長 現在に至る 2018年一般社団法人日本風力発電協会 代表理事 現在に至る



シーメンスガメサ リニューアブルエナジー 営業・技術ジェネラル マネージャー

青木 俊篤

2019年11月現在シーメンスガメサリニューアブルエナ ジー日本支社にて、営業および技術部門を統括して います

安川コントロール株式会社でキャリアをスタートした後、 所属先の事業統合等を経て、2003年よりシーメンス ジャパンの一員としてオートメーション&ドライブ部門 の営業に従事してきました。同部門統括責任者や名 古屋支店長を歴任した後、2009年10月よりシー ジャパンの風力発電・再生可能エネルギー部門長として、同社の新事業拡充を管掌しました。2017年8月に シーメンスガメサリニューアブルエナジーに移籍してか ら現職に就くまでは、日本支店長を努めていました。



BWイデオル カントリーマネージャー 山田 睦

イデオルジャパン合同会社 カントリーマネージャー中部電力株式会社、米コングロマリット トンマノ ン・エレクトリックを経て、2015年に浮体式洋上風 カ発電のグローバルリーダーであるIDEOL SAの 日本法人立ち上げに参画。中部電力では、料金制 度設計や電力自由化の検討に携わる。エマソンで は、コーポレートオフィス事業開発マネージャーとして全社の全体最適を目指した横断的な施策実行や、日系企業の海外拠点向け事業拡大に貢献。ま た、太陽光関連事業部の国内立ち上げも行なう。 Trinity College, Dublin修了。



GE インターナショナル 洋上風力事業部 日本代表 大西 英之

2010年、GEエナジー日本代表として入社し、パ ワー&ウォーター、オイル&ガス、エナジー・マネジメント各部門を統括。

2012年10月よりGEパワー&ウォーター日本代表と して、発電事業の統括責任者を務めるとともに、航 空機エンジン転用型ガスタービンやガスエンジン に活用した分散型電源ソリューションにおける北ア ジアの営業統括を歴任。

2016年8月より再生可能エネルギー事業部の北 アジア代表、2021年7月より洋上風力事業部日本 代表として事業の立ち上げに従事しています。



(株)レノバ エンジニアリング本部 本部長代行 吉田 昌弘

旭川東高校を卒業後、北海道大学大学院にて材料工学を学んだのち1995年に三菱重工業に入社 し、白鳥大橋他橋梁等の鋼構造物の製造を担当。 2005年からは風車の製造・サプライチェーン構築 に従事し、MHI Vestas Offshore Windのデン マークナセル工場を含め複数の生産部門の立ち 上げを国内外で牽引。MHI Vestas Japanでは、 日本の洋上風車サプライチェーン構築に貢献。 2021年にレノバ参画後は、洋上風力発電事業を 中心にエンジニアリング全般、O&M構築を推進。

# パネルディスカッション② パネリストプロフィール



五洋建設㈱ 専務執行役員 土木部門 洋上風力事業本部長 大下 哲則

1984年五洋建設入社。土木設計部、国際事業本部シンガポール勤務、土木電力営業部長等を経て、2009年より北九州市沖のNEDO響灘洋上風 力発電実証研究施設建設検討業務を担当。 2012年札幌支店長、2015年執行役員中国支店 長、2017年常務執行役員、2020年専務執行役員 洋上風力事業本部長、現在に至る。



世界洋上 風力フォーラム 日本代表 渡辺 さゆり

2006年あおぞら銀行入社。2013年に再生可能エ ネルギー業界に転職し、発電事業者及び風車機 器メーカーにおいて太陽光・陸上風力プロジェクト を担当。2018年KZ Managementドイツ支店に入 社し、建設期間のドイチェ・ブッフト洋上風力プロ ジェクト、また事業者選定公募の洋上風力事業な どに携わる。2021年9月より洋上風力の世界的な 拡大に貢献することを活動目的とする非営利法人 World Forum Offshore Wind(世界洋上風力フォーラム)での勤務を開始。



千代田化工建設㈱ 理事 電力・エネルギー システムプロジェクト部長 遠藤 英樹

1985年3月東京工業大学機械工学科卒業後、千 1985年3月東京工業大学機械工学科卒業後、千代田化工建設入社。その後、自動車部品工場、自動車工場、銅製錬工場、テーマパーク建設、電子材料工場、青金属リサイクル工場、蓄電池工場等の各種工場建設プロジェクトに従事。2013~2018年に、水素事業推進ユニットGMとして、水素サプライチェーン構築事業に従事。2018年より、現職にア再生可能エラルギー期連プロジェクトを主管 にて再生可能エネルギー関連プロジェクトを主管。



観光部次長。

北海道経済部環境・ エネルギー局 環境エネルギー課 省エネ・新エネ促進室 主幹(洋上風力) 當瀬 一夫

平成3年に北海道職員として奉職。 平成19年北海道東京事務所観光・マーケティング主査 平成22年北海道胆振総合振興局商工労働観光課工業振 興係長。

平成23年北海道経済部産業振興課主査(企画) 平成25年北海道経済部環境エネルギー室主査(電源地域)。 平成27年十勝の清水町に派遣となり、商工観光課参事。 平成29年北海道十勝総合振興局商工労働観光課主幹 平成30年(公社)北海道観光振興機構に派遣となり、広域

令和2年から北海道経済部環境・エネルギー課主幹(洋上 風力)となり現職。



室蘭工業大学大学院 工学研究科 ひと文化系領域 准教授 木元 浩一

2019年3月に早稲田大学大学院経済学研究科博 士後期課程を修了し、経済学の博士号を取得。 2020年6月から2021年3月まで早稲田大学環境 経済・経営研究所にて次席研究員(研究院講師) を務めたのち、2021年4月に室蘭工業大学大学院 工学研究科ひと文化系領域の准教授に着任。専門は環境経済論・財政学で、現在は環境税制改革を中心に研究中。直近の業績として、執筆に参 加した書籍『Carbon Pricing in Japan』 (Springer 2020, Editors: Toshi H. Arimura and Shigeru Matsumoto)が環境経済・政策学会で論



室蘭市経済部 産業振興課 佐々木 殉一

入庁より観光、水産業などの経済関連部署での 勤務を経て、平成28年より現所属、企業誘致や商工業振興、水素、再エネ等のエネルギー産業、雇 用労政業務を担当する。



MOPA副会長 日本製鋼所M&E株式会社 代表取締役

工藤 秀尚

### ごあいさつ

コロナ禍の収束が見えず経済への影響も懸念されておりますが、世界経済はアフターコロナを 見据え動きが活発になって来ています。その中でESG各種要求に基いた課題解決に向けた取組 みが必須となっており、その中でも脱炭素社会の実現は大きなエネルギー革命を成し遂げること であり全世界共通の課題であります。これに呼応する様に、再生可能エネルギー伸長への期待が 高まっており、特に日本においては洋上風力の開発・伸長に大きな期待が寄せられています。北日 本エリアに洋上風力の各種計画が集中していることから、室蘭港並びに周辺エリアの機能性の 高さが注目されていて、本フォーラムを通してその期待の大きさや実現に向けた可能性を実感出 来るものと思います。

今年は室蘭にとって開港150周年、市政100周年の節目を迎える年であり、新たな時代へ繋が るニーズを逃すことなく洋上風力に関連した事業への対応について具現化して参りたいと考えて おり、MOPAの活動に対し更なるご理解とご協力をお願い申し上げるのと共に、日本全国各地よ りご参加頂いたご講演者とパネルディスカッションご参加者の皆様方に感謝を申し上げ挨拶とさ せて頂きます。

# 室蘭は脱炭素工業都市へ-

## - 室蘭港のポテンシャル



室蘭洋上風力関連事業推進協議会

### **MOPA**<sub>Ø</sub>VISION





★ 鉄 ★ 風 ▶ 洋上風カー大拠点化

風カ =電力の地産地消 ▶ 安価で安定した自前電源

水素=持続可能なゼロ炭素工業都市



風力 ▶







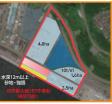


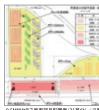
年間平均周速:7.66m/s

#### 崎守埠頭









祝津埠頭







### 正会員

### kanamoto



































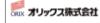




室蘭生コンクリート協同組合

### 賛助会員

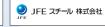
























JGC 日揮株式会社

























オブザーバー

北海道胆振総合振興局